

問 財政課 ☎内線 216・219

その他 4億3,047万円

議会費	1億4,407万円
労働費	2,120万円
農林水産業費	9,686万円
商工費	1億5,347万円
災害復旧費など	1,487万円

消防費 4億7,071万円

【主な事業】

消防救急無線整備	5,877万円
消防庁舎非常用発電設備改修	1,806万円
災害・救急・救助等活動	676万円

公債費 6億7,290万円

借りたお金の返済	6億7,290万円
----------	-----------

教育費 8億5,171万円

【主な事業】

児童・生徒の健康管理	1,288万円
支援の必要な児童・生徒への教育推進	1,734万円
小学校給食の運営	1,317万円
私立幼稚園就園補助	1,649万円
生涯学習館耐震等改修	2,533万円
図書館施設空調整備	5,395万円
旧吉田茂邸再建	6,241万円

衛生費 9億6,145万円

【主な事業】

救急医療（休日・夜間）	1,525万円
各種健康診査・健康相談等	2,402万円
予防接種や感染症対策	7,229万円
がん検診の推進	2,456万円
(仮称)リサイクルセンター整備	2,257万円
ごみの収集・運搬・処理	2億9,146万円
し尿の収集・運搬・処理	9,996万円



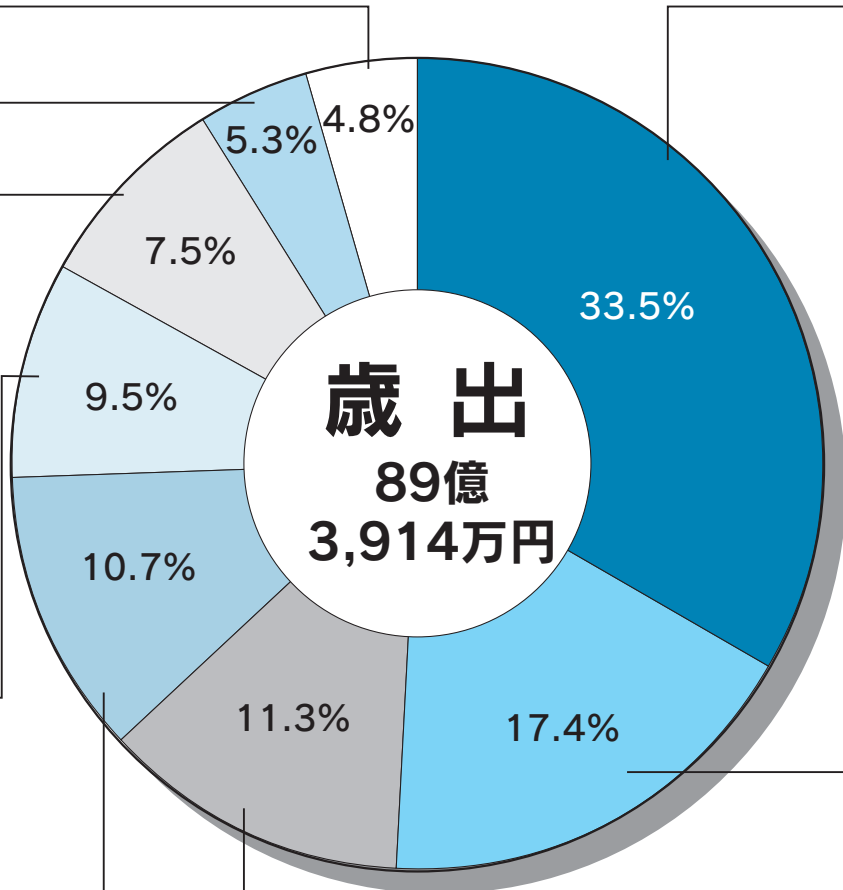
歳出

平成26年度の歳出決算額は、89億3,914万円です。前年度と比べ3億1,788万円減っています。

主な理由としては、ごみ処理広域化事業による高効率ごみ発電施設整備終了に伴う負担金の減や国民健康保険税率引上げによる特別会計への繰出しの減によるものです。

歳出の約30%を占める民生費は、町民の福祉に係るもので、主なものは、医療費助成や児童手当の支給などです。臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金などの支給を行いました。待機児童対策としての民間保育所改修への補助の減などにより減少しています。

町では、限られた財源のなか、心と身体の「健康」に力点を置き、「健康づくり」、「子育て支援」、「体力づくり」を重点的に実施しました。



土木費 10億6,922万円

【主な事業】

橋りょう長寿命化修繕	1,045万円
生沢月京1号線整備	7,914万円
狭あい道路整備	3,123万円
生活交通の確保・路線バスに対する補助	1,880万円
大磯運動公園の維持管理	2,387万円
下水道事業特別会計の安定した運営	4億4,615万円
大磯港の維持管理	3,986万円

※詳細は、町ホームページで公表します。

民生費 29億9,179万円

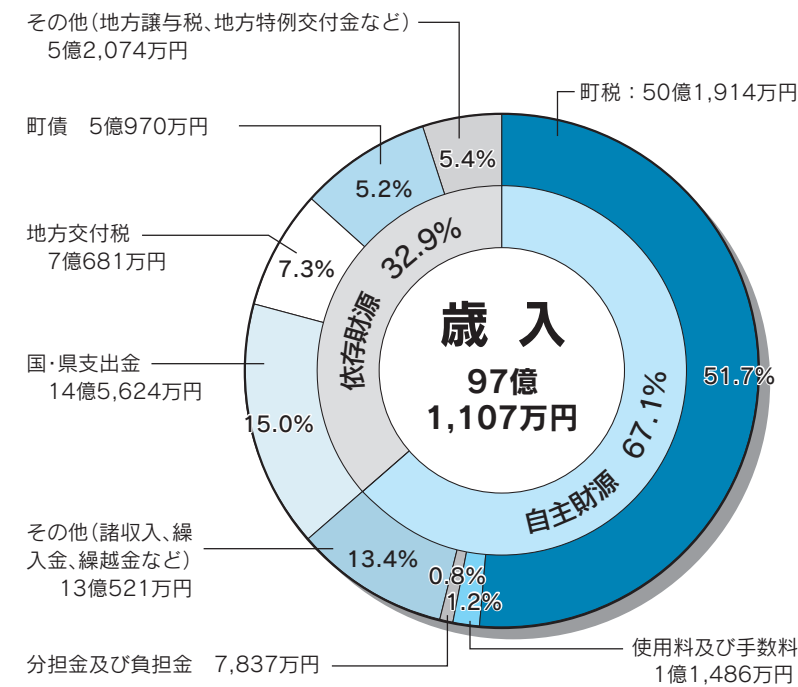
【主な事業】

心身障がい者の医療費助成	1億7,207万円
障害福祉サービスの提供	4億7,342万円
高齢者支援	992万円
児童手当の支給	4億7,391万円
小児医療費助成	7,414万円
国民健康保険事業特別会計の安定した運営	3億2,958万円
後期高齢者医療特別会計の安定した運営	3億6,234万円
介護保険事業特別会計の安定した運営	3億9,244万円

総務費 15億5,319万円

【主な事業】

本庁舎・保健センター 非常用発電設備改修	4,098万円
戸籍住民基本台帳の管理運営	3,819万円
防災行政無線整備等の防災対策	2,734万円
防犯対策	1,706万円
自転車駐車場整備・維持管理	8,943万円
情報システムの共同運営	7,862万円



歳入

平成26年度の歳入決算額は、97億1,107万円です。前年度と比べ1億838万円増えています。

町の収入の根幹となる町税については、景気回復に伴い個人町民税及び法人町民税が増加しました。また、社会保障財源の確保等のための消費税率引上げにより地方消費税交付金が増加しましたが、いわゆるエコカー減税の導入により、自動車取得税交付金が減少しています。

今後、人口減少や少子高齢化を受け、町税の減少が予想されるなか、行政サービスを維持し、安定した運営を行うためには、新たな財源の確保などが課題となっています。

決算の概要を報告します

